法学部教員
研究テーマ集

おくたに　ちおり
奥谷　千織
法学部　教授

法学修士
刑事法

学内における活動

□平成30年4月～
人権委員会委員

学外における活動

□平成30年５月～
独立行政法人大学評価・学位授与機構　法科大学院認証評価委員会　専門委員

主要な研究業績

□H26年1月「被害者への自殺の強制と殺人罪」（「産大法学」第47巻第3・4号800頁～816頁）

最近の研究業績

□H27年1月「加害目的拐取罪における『目的』についての一考察」（「産大法学」第48巻第1・2号305頁～328頁）

□研究テーマ

刑事法における諸問題の研究

□研究の取組み

近時の刑事実務においては，特殊詐欺の増加が顕著であり，その手口の多様化とともにその擬律判断が問題となるのはもちろん（すり替え型事案等），詐欺に使用する他人名義の通帳入手の際の譲渡の有償性（「犯罪による収益の移転防止に関する法律」）等の問題も付随して発生している。

また，勾留と保釈の在り方，録音録画の実質証拠としての使用の是非，司法面接的手法で得られた供述の使用方法如何等の訴訟法上の新たな問題も種々生じている。

元検察官として刑事実務に携わってきた実務家の視点から，これら刑事法の諸問題について，実務動向を把握するとともに法的検討を行うことを，その内容としている。

法曹を志す学生はもちろんであるが，法律を学ぶ学生にとって，法律が実際の現場でどのように使われているのか，「今」を知ることは非常に重要であり，研究の結果を学生への教育に還元することで，学生の知的欲求に応えていきたい。